



映像関連技術を追求し 社会の安心・安全に貢献

日興電気通信株式会社

監視カメラや画像鮮明化装置など
各種映像関連機器を自社で一貫して
設計・開発・製造する日興電気通信。
犯罪や自然災害などの防止・抑止に
重要な役割を果たしている。



代表取締役社長
山中秀一氏



全国各地で採用される「屋外旋回監視カメラ雲台」。



防犯カメラ付きLED防犯灯「OwlView II」。



技術・ノウハウの継承のため、人材育成に注力する。



夜間や悪天候時にも鮮明な映像に補正する「Treasure Box」。

ほぼ判別不可能な画像も 明るく鮮明に補正

日興電気通信は「Visual Network」で新しい映像の世界へ」を企業コンセプトに、映像処理装置や監視カメラ、映像システムなどの製造・販売のほか、各種電子機器の受託開発(ODM)・受託製造(EMS)を行っている。また全国8カ所に設けたサービス拠点で、情報通信機器の設置、設定や保守・点検、診断修理などを手がけている。

「創業は前回の東京五輪より少し前の1959年。父である先代社長が放送用機器や送信機器の製造現場に人材を派遣し、ものづくりや検査業務などを行ったのが始まりです。64年に法人化し、映像関連機器の製造・販売を中心に事業を拡大してきました」と、山中秀一社長は創業期を解説する。

現在、同社が最も得意とする分野が監視カメラと映像処理装置、およびそのパッケージ商品だ。このうち「け込んで監視できます。映像は内蔵SDカードに常時記録され、無線LANで電柱の下から読み出せるので便利です」

防犯カメラ設置には自治体から補助金・助成金が出ることから、幼稚園・保育園や学校、自治会などからの引き合いも多いという。

同社の強みはこうした高い技術力や独自商品のアイデアに加え、顧客ニーズへの対応力にある。

「機器・システムの提案から設計、製造、検査、施工、保守・点検まで当社で一貫して行うため、お客さまのご要望を細かく聞き、製品づくりにすぐ反映できます」

技術を若い世代に伝承し さらなる飛躍を目指す

一方、カスタマーサービス事業では、小中学生に学習端末を配布する「GIGAスクール構想」が、昨年度からの一斉開始に前倒しされたため、PCのキッティング(設定)を担当する同社グループは、急遽数十万

高倍率望遠レンズを搭載した「屋外旋回監視カメラ雲台」は水平360度・垂直上下90度の旋回が可能で、降雪・強風にも強いことから、全国各地で採用されている。

また画像鮮明化装置「Treasure Box」は、夜間・悪天候時やヘッドライトの逆光などにより、監視カメラの映像がほとんど判別できないような場合でも、リアルタイムで鮮明な映像に補正することができる。気象変動の激しい屋外の警備や監視業務に利用されている。

防犯灯の中に防犯カメラ 幼稚園や学校で導入

私たちの生活になじみ深いものでは、駐車場の入退場ゲートなどに使われる車両ナンバー読み取りシステム「NumberView」も同社の製品だ。さらに近年、注目を集めている商品に、防犯カメラ付きLED防犯灯「OwlView II」がある。「防犯灯のケースの中に防犯カメラが入っており、電柱などに取り付けて風景に溶

合のPCに対して作業を行った。

「とにかく現場は忙しくて大変でした。しかし、コロナ禍による半導体不足で受託製造などが減少した分を、これによって穴埋めすることができました」と山中社長は振り返る。

今後の展望について、「創業以来培ってきた技術・ノウハウを若い世代に伝えるため、コア事業である映像関連分野を軸に、特に自社製品の開発・製造を増やすことで、さらなる業務拡大を目指していきたい」と語る山中社長。その目には、同社の明るい将来像が鮮明に見えているに違いない。

COMPANY PROFILE



会社名：日興電気通信株式会社
代表者：代表取締役社長 山中秀一
創業：1959年
事業内容：映像処理装置・監視カメラ・映像システムの開発設計・製造・販売、電子機器の受託設計・受託製造、コンピュータ周辺機器の診断・修理
所在地：東京都品川区大崎3-6-17大崎ビル
横浜工場：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町440
連絡先：Tel.045-962-2011
Fax.045-962-3842
<https://www.ndtc.co.jp/>